NIE実践報告

1．タイトル：新聞記事から人の生き方に学ぼう

2．学校名

佐久市立岩村田小学校

3．実践者名（代表者名）

酒井　啓喜

4．学年

５年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

道徳　３２人

6．単元（本時の学習課題）名

「人の生き方に学ぶ」

7．目標(狙い)

バレーの峯村選手を紹介した記事を読み、峯村選手の生き方や考え方のすばらしさについて話し合うことを通して、高い目標に向かい、希望と勇気を持ってくじけないで努力することの大切さを感じとることができる。

8．評価の視点

高い目標に向かって、希望と勇気を持ってくじけないで努力することの大切さを感じ取ることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「新聞記事から人の生き方に学ぼう」　(学級活動　４時間)
「人の生き方に学ぶ」（道徳　２時間)　【本時の位置：２時間扱い中の第２時】

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1) 前時：①バレーの峯村選手を紹介した新聞記事を各自が読み、感じたことを学習カードにメモをした。(1)
(2) 本時：①前時を想起し，本時の学習について知る。(1)
②峯村選手のすごいところをみんなで考える。
・どこに線を引いたのか確認する。
・線を引いた場所から感じたことを発表し合う。
③友達の考えを取り入れて、自分の考えを見直し、発表する。
(留意点）①新聞記事を読むことの抵抗を軽くするため２時間扱いとし，資料内容の読み取りがしやすいように教師から補足説明も交えてその記事を読み，その内容について，感じたことをあらかじめ書かせる時間をとる。
②子どもの心に届くように，笑顔で，柔らかい言葉で，子どもの目を見て語りかける。
③教師が子どもの所に歩み寄り，いい表現があったら，さりげなくその考えの良さを認める。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

（１）反応：担任が想像していた以上に記事についてよく考え、発言し、それぞれ自分の考えをふくらませていた。
（２）感想・意見：①世の中には辛いことを乗り越えた人がいることを知った。

12．成果と課題

成果：①ある一つのテーマに基づいて、新聞記事を集めていくことで、集めた記事は増え、子どもたちの生活に新聞が浸透していく。集まった記事を眺めて「あっ、私もこの記事にしたよ」「この記事にしようか迷ったんだ」「やっぱりそれを選ぶと思った」等、新聞を媒介にした話題が広がっていったこと。
課題：①記事の内容が、子どもたちにとって興味・関心を持てるものであっても、タイムリーな記事でないと、その価値は半減してしまうこと。②その学習でなぜ新聞を使うのか、新聞のよさは何か、記事から何を考えさせ、どのような価値に出会わせたいのかをしっかり検討することが大事であること。